



宇都宮大学 (栃木県)



世界遺産の日光、最先端のテクノポリス、豊かな自然が身近にある環境での研修です

■大学紹介

① 大学の特色および概要

宇都宮大学は栃木県の中央にある宇都宮市にある大学で、5つの学部と4つの研究科(大学院)からなる総合大学である。大きな大学ではないので、種々の面で学生に対してきめ細やかに対応しており、学部や研究科間を連携した教育・研究活動も行いやすい。

●教員数と学生数 (2016年10月1日現在)

教員数 : 353名

学生数 : 4,873名

(学部生 4,058名, 大学院生名 815名)

●学部と研究科

<地域デザイン科学部>

2016年4月に新たに発足の学部。地域の魅力を引き出して、より良い地域を形成するために必要な、幅広い知識と専門技術を総合的に学ぶ。

<国際学部・国際学研究科>

国際的な視野から社会と文化の総合的な教育研究を行い、世界で活躍できる人材の育成を行っている。海外からの留学生、海外に留学する学生がともに多い。

<教育学部・教育学研究科>

教員養成に長い歴史を持ち、学校教育をはじめ、多方面で活躍できる人材を養成している。

<工学部・工学研究科>

自然環境及び人工環境と人間の共生をめざした先端的研究を行っている。

<農学部・農学研究科>

宇都宮高等農林専門学校からの長い伝統を持つ一方、バイオテクノロジーや国際協力などの先端的研究分野で大きな成果をあげている。

② 国際交流の実績

留学生の数: 256名 (32か国)

研究者の数: 5名 (4か国)

大学間等交流協定校の数: 63大学

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2016年: 留学生数 256人 日本語・日本文化研修留学生 3人

2015年: 留学生数 277人 日本語・日本文化研修留学生 7人

2014年: 留学生数 282人 日本語・日本文化研修留学生 9人

④ 地域の特徴

本学のある宇都宮市は東京の北100km(新幹線で約50分)に位置している。宇都宮市は人口約52万人で、東には鬼怒川(きしかが)、北には那須山地、西には世界遺産の観光地日光など、美しい環境に恵まれている。日本最古の大学、足利(アシカガ)学校に代表される学問の伝統や日本で1、2位を競ういちごなど農産物の開発やテクノポリスを構成する工業技術などアカデミズム・先端的科学技術の発信地となっている。



■コースの概要

① 研修目的

日本事情・日本文化に関する研修を主とし、補助的に日本語能力の向上のための研修を行うもの。

② コースの特色

本コースは、宇都宮大学留学生・国際交流センターが全学の協力を得て行う研修プログラムで、以下の二つの研修を行う。

・日本の文化や社会についての研究

研究テーマを設定し、そのテーマに相応しい指導教員の下に研究を行い、その成果を研修論文としてまとめ、発表し、提出する。

・日本語能力の向上

研究と並行して、日本語の授業や日本語で行われる大学の授業を受講し、自らの日本語能力の向上を図る。

③ 受入定員

10名(大使館推薦5名、大学推薦5名)

④ 受講希望者の資格、条件等

以下の(1)、(2)を二つとも満たすことが条件である。

(1) 専攻分野

母国の大学において日本語・日本文化に関する分野を専攻としていること。

(2) 日本語能力

中上級レベル(日本語能力試験N2合格程度)以上の日本語能力を持っていること。

⑤ 達成目標

本コース研修留学生は研修終了時に自らの調査・研究の成果を日本語でまとめた研修論文を作成、提出すること、またその成果を「日研生論文発表会」で口頭発表することを目標とする。

⑥ 研修期間

2017年10月 ~ 2018年9月

⑦ 研修科目の概要

- ・開講部局は留学生・国際交流センター、基盤教育(全学共通の基礎科目)、各学部である。
- ・授業時間は90分、全科目15回30時間である。
- ・必修科目を4科目、選択科目を8科目



1) 必須科目 (留学生・国際交流センター開講科目、各2単位)

「日本語・日本文化Ⅰ」「日本語・日本文化Ⅱ」
「日研生特別研究Ⅰ」「日研生特別研究Ⅱ」

2) 見学、地域交流等の参加型科目

- ・見学や、留学生を対象とした地域との交流行事等を予定する。(⑧を参照)



3) その他の科目、選択科目等

(留学生・国際交流センター・基盤教育・各学部の開講科目)

- ・選択科目は12科目の受講が必要である。ここに挙げているのは受講を推薦する科目の例であり、日本語能力と研究テーマに応じて他の授業科目を選択できる。
- ・本学の授業科目の2017年度の時間割とシラバスは、本学ホームページ(後述)で確認することができる。

○ 選択科目Ⅰ：上級レベル日本語科目の例 (各1単位)

「日本語アカデミック・リーディングⅡ」
「日本語アカデミック・プレゼンテーション」
「科学技術系のための専門日本語」
「人文社会系のための専門日本語」

○ 選択科目Ⅱ：日本文化関連科目の例 (各2単位)

「日本事情」「日本語の表記」「日本語論」
「日本語史」「対照言語学」「日本文化論」
「多言語コミュニケーション学A」
「多言語コミュニケーション学B」
「異文化間コミュニケーション」
「日本文学史」「日本文学概説A」
「Japanese Communication Arts」
「Globalization and Society」
「グローバル教育論」
「移民と多文化教育」

⑧ 年間行事 (他の留学生も参加する)

- 10月 10月来日留学生歓迎パーティー
ホームステイ
 - 2月 地域との交流会
 - 7月 七夕の集い(地域留学生対象)
- その他、校外学習も予定している。



⑧ 指導体制

本コース研修留学生は本学留学生・国際交流センターに所属し、プログラム担当教員と指導教員の連携による指導を受ける。

○プログラム担当教員：

本コースのコーディネーターとして全学的な協力の下に研修留学生が充実した研修を行えるよう指導教員等と連携をとりながら指導・助言を行う。

- ・ 戚 傑 (留学生・国際交流センター)
- ・ 湯本 浩之 (留学生・国際交流センター)

○指導教員：

研修留学生の研修テーマに応じて専門分野の研究指導を行う。指導教員は、来学後に研テーマに基づいて全学の教員の中から決定される。

⑨ コースの修了要件

以下の(1)～(3)を全て満たすことを修了要件としコース修了者には修了証書を与える。

- (1) 必須科目4科目を履修すること
- (2) 選択科目12科目(本プログラムに関連した内容の科目)を履修すること
- (3) 研修論文を作成するとともに、研修論文の内容を「日研生研修論文発表会」で発表すること

■ 宿 舎

本学には、外国人留学生用の宿舎として国際交流会館があるが、全員が入居できない状況である。

そのため、国費留学生は民間アパートに入居する可能性が高い。

〈参考〉

○民間アパートに入居する場合、最初にかかる諸費用

- ・ 居室料(単身用・月額) 30,000円前後
- ・ 敷金(居室料の1ヶ月分)
- ・ 礼金(居室料の1ヶ月分)
- ・ 手数料(居室料の1ヶ月分)
- ・ ガス開栓等の手数料 15,000円前後
- ・ 保険料 4,500円～9,000円 前後

合計 10万円～15万円前後

○設備等

- ・ エアコンが設置されたアパートは比較的多い。
- ・ その他は来日後、各自で購入等の必要がある。

■ 修了生へのフォローアップ

研修修了後も、希望者には進路や研究内容等について、メールなどにより、随時相談・助言等を行っている。

○過去の修了生の進路の例：

- ・ 本学大学院進学
- ・ 本学以外の日本の大学院進学
- ・ 母国での通訳
- ・ 母国での大学教員
- ・ 日系企業への就職



■ 問い合わせ先

(担当部署)

宇都宮大学学務部留学生・国際交流課

住所 〒321-8505

栃木県宇都宮市峰町350

TEL +81-28-649-8166 (直通)

FAX +81-28-649-5115

E-mail

ryuugak1@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

宇都宮大学ホームページ

<http://www.utsunomiya-u.ac.jp/>

宇都宮大学留学生・国際交流センターホームページ

<http://intl.utsunomiya-u.ac.jp/>

